

Y03c

## 国立天文台野辺山特別公開-アンケート調査報告

宮澤千栄子、宮澤和彦、伊王野大介、西岡真木子、川辺良平（国立天文台野辺山）、ほか国立天文台野辺山スタッフ

国立天文台野辺山（以下観測所という）では開所当時から行われている常時公開に加え、開所翌年の1983年から年に1回「特別公開」を行っている。特別公開には、常時公開で公開されていない建物やアンテナの内部を見られること、講演会など催しや各アンテナの最新成果、装置の説明を直接職員から聞けるということもあり、毎年たくさんの方が訪れる人気のイベントとなっている。28回目となる今年は8月21日（土）に開催された。好天に恵まれ、3278名の来場者があった。この数は歴代第4位の記録である。対応にあたったスタッフ数は122名。（内、野辺山在勤者54名。ただし外注警備を除く）

当観測所の特別公開は社会的（電波天文学の啓蒙普及・地元の観光資源など）にもおおいに期待されているイベントでもあるので、次年度以降も少人数の人員体制でいかに継続的に開催・運営し、来場者への確かつ十分なサービスを提供するかは大きな課題となってくる。そこで今後の開催手法への参考情報を得るために来場者アンケートを実施した。内容は、客層、何処から開催を知ったか、リピータ率、目当ての催し、印象に残った催し等についての把握、その他意見の収集である。

調査方法は、見学を終えた来場者に対して受付担当者らがアンケート調査協力を呼びかけ、記入してもらうという形である。結果、回収枚数1498枚（全来場者数の45.7%）と、多数の方の意見を拾うことができた。

本発表では今年の公開日の開催状況報告、アンケート調査集計結果及び考察を行う。